

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2 東書	中学校家庭	家庭 002-72	新編新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取 扱 内 容	学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 の 目 標 ， 内 容 等	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理を行ったり、住まいの中の危険について考えたりする活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B 衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために持続可能な衣生活を取り上げ、衣服をリフォームしたり、リメイクしたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている			
		○ 内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A 家族・家庭生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域の人と炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「ガイダンス」は 20 ページ、「A 家族・家庭生活」は 24 ページ、「B 衣食住の生活」は 102 ページ、「C 消費生活・環境」は 22 ページ、「選択 生活の課題と実践」は 11 ページで、総ページ数は 298 ページであり、前回より約 3% 減となっている。			
使 用 上 の 配 慮 等		○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く！」「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとめりごとに、生徒が自分の課題に気づくために生徒キャラクターによる課題につながるヒントを示したり、学習したことを自分自身の生活に生かすために「生活に生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用や配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の検閲を受けたりするとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレー			

	ションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	○ 地域素材については、北海道の食材や郷土食である鮭のちゃんちゃん焼きや石狩鍋、北国の寒さや雪対策を施した住まい方、アイヌ民族の衣装（アットゥシ）を扱っている。 ○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを読み込むと、動画やシュミレーション、思考ツール、ワークシートなどを活用できるようになっており、情報を整理したり、発信したりできる工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、「小学校」リンクマークで関連する小学家庭の内容が分かるよう配慮がなされている。
本市生徒の 学習の状況等	○ 自らの力で生活の中から課題を見出し、見方・考え方を働かせて、よりよい生活を工夫し創造する力を育むことができるよう、「レッツスタート」や「考えてみよう・調べてみよう」では自分の生活を振り返り、考えを深めたり、広げる活動が促されるよう工夫がなされている。また、「生活の課題と実践」のページでは詳細な実践の進め方例が示され、計画的に学習が進められるよう工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう、「いつも確かめよう」で基礎技能の定着を促し、豊富な実習例を紹介する工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着することができるよう、題材の最後の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」が設けられ、題材の学習を生活に生かせるよう工夫がなされている。
その他	○ 課題を解決するための方策について評価・改善することができるよう、図や表を基に問題を解決する道筋が丁寧に示され、思考ツールを活用することで自分の考えを整理し深められるよう配慮がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		6 教図	中学校家庭	家庭 006-72	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
取 扱 内 容	学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 の 目 標 ， 内 容 等	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、高齢者とのかかわりについて理解したり、住んでいる地域のよいところを振り返ったりする活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「A 家族・家庭生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために高齢者の一般的な特徴を取り上げ、Googleなどを身に付けた疑似体験をするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。			
		○ 内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「B 衣食住の生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「ガイダンス」は 14 ページ、「A 家族・家庭生活」は 60 ページ、「B 衣食住の生活」は 150 ページ、「C 消費生活・環境」は 42 ページ、「選択 生活の課題と実践」は 10 ページで、総ページ数は 296 ページであり、前回より約 4% 減となっている。			
使 用 上 の 配 慮 等		○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう！」「メッセージ」などのコラムを掲載したり、幼児の表情が分かる写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとめりとともに、学習前と学習後の自分の状況を比較し学習効果を実感するために「自立度チェック」を設けたり、生活の中の課題を、ステップに沿って解決するために「学びを生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用や図やグラフの色遣いで、色による区別がなく、色の境界が識別できるように配慮したりするとともに			

	に，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載し，動画や計算ソフトを活用できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	○ 地域素材については，北海道の食材や郷土料理である三平汁や石狩鍋，北国の気候風土に合わせた三角屋根の住まいを扱っている。 ○ ICTの活用については，１人１台端末を活用した学習活動として，二次元コードから調理動画，提出可能なワークシート，計算を助けるソフトなど，教科書の内容に関係するコンテンツを活用することで，基礎的な知識・技能が身に付けられるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については，「関連」のマークで小学校の学習とのつながりが分かるよう配慮がなされている。
本市生徒の 学習の状況等	○ 自らの力で生活の中から課題を見出し，見方・考え方を働かせて，よりよい生活を工夫し創造する力を育むことができるよう，小単元の導入部分に身近なことから考えられる課題が設定される工夫がなされている。また，「生活の課題と実践」のページには課題と実践例，実践の進め方が記載され，見通しをもって学習が進められるよう工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして，実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう，章末の「学びを生かそう」では，これまでの学びを踏まえて自分のこととして問題発見，課題設定，課題解決への流れが示されるとともに，実際の取組例が掲載されており，生徒が理解しやすい工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着することができるよう，学習のめあてが示されており，「振り返る」でめあての学習内容が身に付いたことをチェックができるようになっており，各章の終わりの「学習のふり返し」で学習内容が定着できるよう配慮がなされている。
その他	○ 課題を解決するための方策について評価・改善することができるよう，二次元コードから，学習内容に応じた資料や動画，サイトを活用して計画や記録を作成できるなどの配慮がなされている。

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		9 開隆堂	中学校家庭	家庭 009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに 支え合う生活へ
取 扱 内 容	学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 の 目 標 、 内 容 等	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、幼児にとっての遊びの意義について理解したり、自分の成長を振り返ったりする活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B 衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために郷土料理や行事食を取り上げ、地域の雑煮を調べて調理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。			
		○ 内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当を作る実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「ガイダンス」は 14 ページ、「A 家族・家庭生活」は 62 ページ、「B 衣食住の生活」は 146 ページ、「C 消費生活・環境」は 20 ページ、「選択 生活の課題と実践」は 12 ページで、総ページ数は 314 ページであり、前回より約 4% 増となっている。			
使 用 上 の 配 慮 等		○ 「消費・環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などのコラムを掲載したり、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習のまとまりごとに、自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもつために「生活の具体的な場面の例」を示したり、生活の中から考え、実践するために「やってみよう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用やデザイン、配色について色彩の専門家による検証を行ったりするとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や学習カードを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			

指導上の 配慮等	○ 地域素材については、北海道の食材や郷土料理であるいも餅や鮭のちゃんちゃん焼き、北国の寒さや雪対策を施した住まい方を扱っている。 ○ I C Tの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードから、教科書に掲載されている内容についてより一層学びを深めることができる資料、基礎的な技能や実習手順が理解できる動画が用意され、学びを広げ、深める工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、「小学校」マークで関連する小学校家庭の内容が分かるよう配慮がなされている。
本市生徒の 学習の状況等	○ 自らの力で生活の中から課題を見出し、見方・考え方を働かせてよりよい生活を工夫し創造する力を育むことができるよう、「生活の課題と実践」のページでは生活課題の見つけ方や課題への取り組み方が具体的に示され、見通しをもって活動を進められるよう工夫がなされている。 ○ 授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力を育むことができるよう、学習のまとめりに「学習のまとめ」が位置付けられ、身に付いた知識や技能などを生活に生かすことができるよう工夫がなされている。 ○ 学んだ知識を実生活の事象などと関連付けて定着することができるよう、基礎的・基本的な知識・技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易しい内容から難しい内容へと確実な習得ができるよう工夫がなされている。
その他	○ 課題を解決するための方策について評価・改善することができるよう、図や表を基に解決までのプロセスと活動段階に応じた評価や深化の資料が用意され、学習に生かせるよう配慮がなされている。